

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年6月11日 (月)  
 NO. 865号 本号3頁

## **全国 3000 万人署名提出集会開催！ 「1350 万人分」(到達数は 1500 万人) を提出**

安倍 9 条改憲 NO！全国市民アクションは 7 日、4 月末までに 1350 万を突破した「安倍 9 条改憲 NO！憲法を生かす全国統一署名」(3000 万人署名) の第 1 次署名提出集会を衆院第 1 議員会館・国際会議室で開催しました。各団体・地域で運動してきた市民らが、野党 4 党・2 会派の代表に署名を手渡し、ともに「9 条変えるな」とコールしました。



主催者あいさつした高田健氏は、約半年で 1350 万人超に達したことについて、全国津々浦々で広げた成果だと強調。「3000 万人を何としても集めて世論を変えよう。安倍政権を退陣させよう」と呼びかけました。

次に、各分野の代表発言がそれぞれの団体等での 3000 万人署名のとりくみと 9 条改憲に向けた決意を語りました。その中で、九条の会の小森陽一事務局長は、地域や職場などの 4 人に 1 人を目標に取り組み、達成している会もあるとして、目標達成に全力をつくすと語りました。全日本視覚障害者協議会の田中章治代表理事は、点字署名で 1500 人分を超えたと報告。安保関連法に反対する学者の会の広渡清吾・東大名誉教授は、「安倍政権がこれ以上、日本を統治することは不幸だと学問的にも明らかにし、3000 万人に一日も早く到達できるようがんばる」と表明しました。

その他に、改憲問題対策法律家 6 団体の大江京子事務局長、宗教者九条の和金性済 (キム・ソンジュ) 代表世話人、オール埼玉総行動実行委員会秋山あつ子副実行委員長が報告しました。



それを受けて、各政党・会派代表が発言しました。立憲民主党の枝野幸男代表、日本共産党の志位和夫委員長、無所属の会の岡田克也代表、自由党の小沢一郎代表、社民党の照屋寛徳国対委員長、沖縄の風の糸数慶子代表があいさつ。志位氏は、「憲法解釈を変えて恥じない安倍政権に、9 条を変える資格はない」と強調。朝鮮半島をめぐる平和の激動で 9 条改憲の土台が崩れつつあるとして、「3000 万人署名を広げ、市民と野党の共闘で 9 条改憲を葬り去ろう」と呼びかけました。枝野氏は、「安倍政権は、憲法も、立憲主義もわかっていない。にもかかわらず変えようとする。論外だ」と批判しました。小澤氏は、自由党の憲法方針を語り、「憲法 9 条を変えてはならない」と語気を強めました。

その後、参加した各党の党首はじめ全国会議員に、市民アクション実行委員会のメンバーが署名を手渡しました。

最後に、共同代表の福山真劫氏が「憲法集会で1350万人と発表したが、現段階では1500万近くに達している。何としても、安倍9条改憲を阻止するために、3000万人署名を成功させよう」と閉会の言葉を述べました。

## **大阪憲法会議 提出集会参加後、府選出国会**

### **議員に要請行動実施！**

大阪憲法会議からは山田事務局長はじめ、大阪12区3人、西淀1人など7人が提出集会に参加。代表が日本共産党の志位委員長に署名を手渡しました。そして、提出集会後、3組に分かれ、大阪府選出の22名の国会議員に「総あたり」の要請行動を行いました。さらに、夕方6時半から始まった国会前集会にも「大阪憲法会議」の旗を掲げて参加しました。

終日の行動となりました。



## **雨の中、安倍政権の退陣を求め、27000人**

「9条改憲NO! 政治の腐敗と人権侵害を許さない! 安倍政権の即時退陣を要求する6.10国会前行動」が、10日午後、国会正門前で開催されました。主催者は「6.10国会前大行動実行委員会」。参加者は大雨にも関わらず、27000人でした。

福山真劫さんの主催者あいさつ。「安倍政権は憲法を破壊し、国政を私物化し、もり・かけ問題でうそを重ねている。私たちの力でうそだらけの政権を終わりにさせよう。これ以上、安倍政権を続けさせてはならない。退陣まであと一歩のところまで来ている。力を合わせて、安倍退陣へ大きな流れをつくろう」と訴えました。

その後、立憲民主党の福山幹事長、共産党の小池書記局長、社民党の吉川幹事長、無所属の会の田嶋要衆議員らが参加し挨拶しました。立憲民主党の福山幹事長は「安倍政権は2年間にわたって、文書を改ざんし、国会で虚偽答弁を



し、官僚にすべての責任を押しつけている。森友・加計学園問題では、おかしいという声を全国各地で上げてくださったお陰で、国会審議のなかで明らかになってきた。『もういい加減にせえよ』という声をさらに上げていただいて、安倍政権打倒にむけて一緒に頑張りましょう」と訴えました。

各界・各団体のあいさつでは、立憲デモクラシーの会・市民連合の山口二郎氏、豊中市議の木村真氏、TPPプラスを許さない! 全国共同行動の山田正彦氏、共謀罪NO! 実行委員会の海渡雄一氏、被団協事務局次長の児玉三智子氏、過労死家族の会の佐戸恵美子氏ら14人が、それぞれの立場から安倍政権の退陣を訴えました。

山口二郎氏は「民主主義とは、腐った権力から国民が権力を奪う闘いだ。力を合わせて闘おう」と呼びかけました。また、森友問題に取り組んできた木村氏は「財務省の改ざん発覚で安倍首相は終わりと思ったが、甘かった。首相は悲願の改憲に必死。それをさせないために、一刻も早く退陣に追い込もう」と訴えました。また、海渡氏は「共謀罪法が強行されて1年。今も共謀罪法の廃止を求めて、全国の仲間が声をあげている。衆院に退出されている廃止法の成立に向けて奮闘しあお

う」と呼びかけました。佐戸氏は、NHKに勤務していた娘さんの過労死自殺について当時の様子を報告し、高度プロフェッショナル制度などの働き方改革法の廃案を呼びかけました。

## 「疑惑まみれの安倍内閣は総辞職せよ」と、声を上げる！

### －7日、夜には国会議員会館前で「木曜行動」－

総がかり行動実行委員会は7日、森友・加計学園疑惑の徹底追及、安倍政権の退陣を求めて毎週取り組んでいる「木曜行動」を国会議員会館前で行いました。野党の国会議員も駆けつけ、参加した600人とともに「麻生財務相は今すぐ辞任」「安倍首相の責任重大」とこぶしをあげました。

3000万人署名提出行動に参加し、引き続き集会に参加した板橋区の女性（77）は、「地域でねばり強く署名を集めています。改憲を止めるには、市民と野党の共闘しかありません。私もできることをこれからも頑張ります」と話しました。

主催者あいさつした憲法共同センターの長尾ゆりさん（全労連副議長）は「改憲をストップさせるため、さらに署名を積みあげていきましょう」と訴えました。

行動提起をした同実行委員会共同代表の高田健さんは、国会前大集会が開かれ、新潟県知事選の投開票がおこなわれる10日が「非常に重要な日になる」と指摘。安倍政権を退陣に追い込むためにも全力をあげようと呼びかけました。

日本共産党の辰巳孝太郎参院議員、立憲民主党の中谷一馬衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員があいさつしました。



## 国民投票法改定案提出に合意せず 野党一致して反対

衆院憲法審査会は7日、幹事懇談会を開き、与党側は国民投票法の改定について「各党各会派の合意を得て、今国会中に法案を提出したい」と主張し、共同提出に合意するよう野党に迫りました。

日本共産党の赤嶺政賢議員は「国民投票法の改定を呼び水に、安倍改憲へとつなげようとするもので、与党のやり方は認められない」と批判。立憲民主党の山花郁夫議員も「合意できない」と述べ、野党はそろって法案提出に反対しました。

自民党は、法案提出の継続協議を求めるとともに、「来週の審査会で自由討議を行うことを検討してほしい」と提案。引き続き協議することになりました。

## 各地のとらきみ

### 三重 「秘密法と共謀罪に反対する鈴鹿市民の会」が署名・宣伝行動

三重県の「秘密法と共謀罪に反対する鈴鹿市民の会」は6日、鈴鹿市の近鉄白子駅前で行った「安倍9条改憲NO！3000万人署名街頭アクション」に取り組みました。毎月6日に行っている取り組みで、雨の中、約20人が参加しました。参加者は、安倍政権退陣のゼッケンを掲げ、独自に作成したビラを配布し、21人分の署名が集まりました。

行動には鈴鹿市議4人が参加し、石田秀三（日本共産党）、森川ヤスエ（同）、板倉操（リベラル鈴鹿）の各氏がマイクを握り、安倍政権の憲法9条改憲の動きを批判し、一人ひとりが改憲ノーの声を上げようと述べ、3000万人署名への協力や、安倍政権の退陣で「あたりまえの政治を取り戻そう」と訴えました。

「市民の会」の山本あけみ代表は、3084人分の署名を国会に送ったと述べ、「今後2回の活動を計画し、署名活動を引き続き行っていく」と語りました。